

を試みたる市議戦には公認候補として丸田良一君を立候補せしめ奮闘をなしたるも、大點にて敗れた。

宇部市議戦には準備會として奥村小四郎君を立候補せしもこれまた落選の非運に逢つた。

ロ、日常闘争

吾黨支部は昭和三年十月電燈料値下運動を起す爲め値下期成同盟會を結成し七ヶ月間に渉る長期の闘争をなし遂いに平均一割の値下を斷行せしめたり

昭和四年十一月二十日吾黨提唱して下關市に於いて家賃値下運動を起す爲め家賃値下期成同盟會を結成し目下着々運動をなしつつ、あり一般市民の信頼は厚い。

三、現勢

現勢山口縣下に於ては下關及徳山に支部あり宇部市に準備會ありその結成をまつて、聯合會を結する筈である。

吳地方支部

民政黨の勢力は高知縣に於ては、當今現状を維持し得るものと思はれる。

ロ、政友會代議士、六名中二名縣議三〇名中十五名、

政友會の勢力は没落の途をたどりつゝある。最近行はれた吾川郡の選舉に於ても明らかなるが如く昭和二年の縣會議員總改選の當時には互角の勢力を有したりしものが今回は五千に對する三千と云ふ大差を以て敗北し去つた勿論野黨としてのハンデキャップも附けられるものではあるが、其の勢力の没落の速度は可成りに急なるものがある。尙縣議十五名も機會を得れば民政と行動を共にせんとしつゝある者が少とも三名を數へることが出来る。從而縣會の現在の數は正しいものであるとは云へない。一番正しい觀方は高知市に於ける四十名の市會議員の分野を見れば好い。民政二十三名、政友十二名、政友系中立一名、無産黨四名、

2、他無産政黨派の勢力

日本大衆黨(日勢系)高知市に於て土佐電氣労働

先に海軍労働聯盟吳海工會に依つて組織されてゐた吳民衆黨との合同に依つて結成せられたものであつて其の後陣容の充實に努力し市内外に數々の分會を組織し、近く開催される支部大會に於て缺員の支部長を推薦して黨勢擴張運動に邁進し近く行はれるであらうところの總選舉戦に備へんとしてゐる。

高知縣支部聯合會

一、地方一般現勢

1、高知縣に於ける既成政黨の勢力現勢

イ、民政黨代議士定員六名中四名、縣議定員三〇名中十五名、

民政黨總裁濱口雄幸氏が本縣出身のため民政黨の勢力は濱口の爲にのみ旺盛にして大體、六七割の勢力を占めて居る、然し乍ら一般に何となく既成政黨の罪惡に對する嫌惡の情は、流石の濱口の名聲を以てしても如何ともなす事能はず、一部無産階級の間は無産政黨に對する期待が徐々に擦頭し來りつゝあるが

組合第四、五の組合が組織せられそれが高知縣に於ける大衆黨の主要勢力となすもの云ふことが出来る。農民運動方面に於ては高岡郡高岡町を中心として高知縣農民組合なる團體を組織して居るが、また其勢力は微弱極まるものである。大體大衆黨の運動方針は正しく大衆を指導すると云はんよりはむしろ一時の昂奮を助長するが如き嫌ありて比較的實質的なものをつかみ得ないものがある様であるが、兎角相當勇敢に闘争的に出てゐるので徐々に黨勢は延びつゝある現在高知市、高岡町、伊野町、片地村、長濱町、須崎町等に支部を有し、來る衆議院議員選舉には第一區より高知縣聯合會長安藝盛を立候補せしむる計畫にて目下準備中の由、他の無産政黨は別になし、政獲同盟を支持したる高知一般労働組合協議會なる團體あれども組合員數名にして問題とするに足らず。

二、重要闘争

イ、選舉闘争

▲縣會議員選舉、昭和四年十一月五日吾川郡補缺選舉、候補者、岡崎精郎次點得票七九八票